

注目のイベント

※諸事情により変更や中止の場合があります。

展覧会の見どころ&特別鑑賞講座
「歌川国芳と月岡芳年の
浮世絵版画を見てみよう」

「鎌倉殿」と武将たち展のみどころを紹介し、当館所蔵の浮世絵版画から歌川国芳と月岡芳

年の作品を実際に鑑賞する講座を開催します。

日 程：11／19(土)

10:00～11:00／14:00～15:00

講 師：河内えり子（佐野美術館学芸グループ長）

会 場：佐野美術館講堂

定 員：各回12名 参加費：500円

※要申込・先着順

その他のイベント

2022.10-12

小原古邨 会期中

●10／1(土)
講演会「小原古邨—光と雨の系譜—」

●10／15(土)
古邨を飾るミニ屏風をつくりましょう

●10／22(土)
学芸員のミニギャラリートーク

「鎌倉殿」と武将たち 会期中

●11／5(土)、12／10(土)
学芸員のミニギャラリートーク

木製スティックで
小物入れをつくろう

木製スティック（アイスの棒）をグルーガンで組み立て、造花などで飾りつけ。用途に合わせてかたちも自由につくってみましょう。

日 程：10／29(土)、
11／5(土)、12(土)、19(土)、26(土)、
12／3(土)、10(土)、17(土)
10:00～15:00(最終受付)

会 場：佐野美術館1階ロビー

参加費：400円(1個)

※申込不要・

入館券不要・

随時参加可能



イメージ：スマートフォンスタンド

収蔵品より 展覧会出品情報

徳川家康が武田信玄に大敗を喫したことで知られる、三方ヶ原の合戦を契機とした展覧会が浜松市美術館で開催されます。当館所蔵作品3口も出品されるので楽しみに！

浜松市美術館

「名刀 泰平を切り開く
—戦国から江戸へ—」

会期 2022年10/15(土)～12/4(日)

出品作品

- 重要文化財 刀 無銘 正宗 鎌倉時代末期〔展示期間：10/15(土)～11/6(日)〕
- 刀 無銘 貞宗 鎌倉時代末期
- 重要文化財 刀 金象嵌銘 備前国兼光／本阿弥(花押)〈名物 大兼光〉 南北朝時代〔展示期間：11/8(火)～12/4(日)〕



刀 無銘 貞宗 鎌倉時代末期 佐野美術館蔵

展覧会担当学芸員のこぼればなし —本展鑑賞のススメ—

小原古邨 海をこえた花鳥の世界—原安三郎コレクションを中心に
【2022.9.3(土)—10.23(日)】

鈴木華邨 《坪内逍遙著『桐一葉』口絵》
明治29年(1896)春陽堂 朝日コレクション

髪や衣裳を乱し立ち尽くす女性は、豊臣秀吉の側室淀君です。関ヶ原の戦いで徳川軍に敗れ、豊臣の行く末を案じるあまり狂乱する、物語の山場を描いています。画面左下からは床に落ちた懐刀と流血が垣間見え、次の展開を暗示させます。

古邨の師で日本画家の鈴木華邨は、小説の口絵画家としても活躍しました。口絵は読者を物語の世界へと誘う役割を果たし、絵の

完成度が小説の人気を左右します。華邨は物語の核心を丹念に読み解き、室内の小道具一つに至るまで鮮明に描き出すことで視覚に訴え、読者を魅了する名作を彩りました。華邨の制作態度と表現方法は、花や鳥たちを繊細かつ豊かな色彩でとらえた古邨の作品へと、確かに受け継がれています。

(学芸グループ長 河内えり子)

連載 其の四十六

渡邊妙子理事長の

ひとこと
いいかしら？

晩秋の企画

月冴える晩秋の展覧会企画には、当館の五十数年の間に何をテーマとした企画が多いのかと、広報担当者から問われた。

古記録を紐解いてみると、昭和から平成時代に日本刀を除いて、最も多いのは白隠禅師の墨蹟展であった。昭和42年に初の白隠展を開催した。朝一番、龍澤寺の中川宗淵老師がご来館になった。館内は森閑として、人一人いない。老師は私に、

之とあれを比較するようにと。私の背中に冷感が走った。「この出品目録を世に出してはいけません。すべて私のもとに持ってきてください」と。その午後、私は印刷した目録を風呂敷に包んで、老師の下へ持っていった。老師は、包みの話はされず、よもやま話をされ、私は下座した。白隠の出品目録は老師自らが火中に入れたのだった。白隠ならぬ白隠の書画の記録は灰に帰した。

当館開館から数年後、佐野美術館友の会が中心となって、中秋の名月を愛でる会を企画した。会場には月迎えのための祭壇を築き、かがり火が焚かれ、新酒・山海の珍味を備え、三嶋大社の神主が祝詞をささげ、月の神様をお迎えしていただいた。隆泉苑の大きな池には、満月の姿とかがり火が映し出されていた。

この宴に、中川老師もご参会いただき、ご酒を楽しまれ、やがて手踊りをされた。このときの様なおどけた老師に初めてお目にかかった。そして間もなく幽明境を異にされた。でも、私は白隠の書画と共に、いつも老師の恩情に包まれて、いまでもあると思えてならない。

あの日、老師様をお見送りした後、池には丸いお月さんがあった。老師が書かれた円相のように丸かった。

INFORMATION さんしんギャラリー 善

2022年12月、さんしんギャラリー 善はリニューアルオープンいたします。休館期間中には、壁面や照明などの改修工事を行い、開所当時の真新しい展示室に生まれ変わりました。

2023年以降は、佐野美術館企画による静岡県東部・伊豆地域にゆかりの作家の展覧会を「春季2本・秋季2本」開催してまいります。展覧会の詳細につきましては、ホームページ等を通じて随時ご案内いたします。設立コンセプトである「文化芸術の発信拠点」を更に進化させ「文化芸術と地域交流の出会いの場」として地域の活性化と芸術振興に尽力してまいります。

皆さまのご来場を心よりお待ちしております。

2022.12 展覧会スケジュール

赤池完介展（ステンシルアート） 12／3(土)～12／18(日)

お問い合わせ：さんしんギャラリー 善 〒411-0857 静岡県三島市芝本町12-3
TEL 055-991-0034 <https://www.sanshin-zen.jp/>

「Untitled」2021年 作家蔵
アクリル絵具／ステンシル

開館時間：10:00～17:00(入館の受付は16:30まで)
休 館 日：木曜日(祝日の場合は開館)／
展示替期間(10/24-28)／
年末年始(12/19-1/6)

交通案内
JR三島駅南口より
・南へ1.3km左側
・東海バス(4番のりば：大平車庫行き)で「佐野美術館」下車
・伊豆箱根鉄道に乗換え「三島田町駅」下車徒歩5分
東名沼津I.C.より
・伊豆箱根方面へ8km、三島玉川交差点を左折、二つ目信号を右折、次の角左折
東名裾野I.C.より
・南へ13km
新東名長泉沼津I.C.より
・伊豆箱根方面へ10km

※駐車場あり。駐車場混雑時には三島市営駐車場(有料)をご利用ください。